



自治行政局公務員部公務員課給与能率推進室

寶田 萌音 TAKARADA MONE

平成31年 4月 総務省採用
自治大学校庶務課
令和 2年 4月 同 自治行政局公務員部福利課
令和 3年 4月 三重県デジタル社会推進局デジタル戦略企画課
令和 4年 4月 同 地域連携部市町行政財課
令和 5年 4月 現職

地方と繋がれる場所

地方を支える「人」の育成

近年、地方自治体では、DXへの対応や感染症・大規模災害をはじめ、さまざまな行政課題が多様化・複雑化しており、地方公務員に求められる能力も日々変化・高度化しています。

今後、少子高齢化により若年労働力が減っていく中、地方自治体で複雑・多様化する課題を解決し続けるためには、リスキリングを通じた新しい知識の獲得をはじめとした、地方自治体を支える人材の育成等にこれまで以上に取り組むことが必要です。

今年度は、総務省が地方自治体に対して示している人材育成の指針を26年ぶりに改正し、地方自治体が戦略的に人材育成・確保等を行うことができるように支援する作業を行っています。

思い入れのある場所を増やす

総務省の大きな魅力の1つは、職員それぞれが、自分が出向した県に対して非常に強い思い入れを持っていることです。

官庁訪問で、出向先での印象深い業務や、出向先で得た人とのつながりについて熱心にお話される先輩が多く、自分もこんなに熱い思いを持って語れる場所が欲しい!と感じ、入省を決めました。

二年間三重県への出向を経験し、個別の自治体の財政状況がどうなっているか、自分が総務省にいた際に携わった制度が、実際どのように運用されているかを学びました。出向で個別の自治体の実情を知ったことをきっかけに、国全体のマクロの視点だけでなく、個別の自治体はどうなっているのかという、ミクロの視点で物事をもっとよく見てみようと考えようになりました。私を成長させてくれた三重県はとても大切な場所です。県でお世話になった職員とは未だに交流が続いています。

皆さんも総務省で一緒に働き、思い入れのある場所を増やしてみませんか。

とある一週間

月曜日

今週末開催する研究会に向けて、資料の調整を行います。

火曜日

地方における人材育成の課題について、自治体でオンラインでヒアリングを行います。

水曜日

専門家の先生と打ち合わせ。
官民を通じた人材育成の優良事例やトレンド等を教えていただきます。

木曜日

研究会を開催。自治体からの事例発表を踏まえて、活発な議論が交わされました。

金曜日

研究会で指摘があった点について、対応案を検討し、上司に相談します。



三重県での配属先の職員のみなさんと

PRIVATE TIME

カレーが大好きで、家でゆっくり時間をかけてスパイスからカレーを作ったり、本格的なインド料理店をめくっている時間が最高の癒やしです。最近では友人や家族を誘って、南インドの伝統的な料理であるミールス(お米・カレー・副菜の定食料理)を提供するお店を探して食べ歩いています。夏期休暇等を利用し、いつか南インドに行ってみたいです。





自治財政局地方債課資金係長

高瀬 弘隆 TAKASE HIROTAKA

平成29年4月 総務省採用
消防庁消防・救急課
平成30年4月 同 自治財政局公営企業課準公営企業室
平成31年4月 群馬県総務部市町村課
令和2年4月 同 産業経済部地域企業支援課
令和3年4月 総務省自治財政局財政課
(自治財政局財政課復興特別交付税室室員併任)
令和5年4月 現職

日常生活を支える「地方債」

地方債は「縁の下の力持ち」

突然ですが、みなさんは「地方債」ってご存じでしょうか。「国債」ならご存じの方はいても、「地方債」の内容をご存じの方はあまりいらっしゃらないのではないでしょうか。私はいまこの「地方債」に関する業務を担当していますが、少なくとも入省するまで聞いたことがありませんでした。

地方債は、平たく言えば、地方団体が建物を建てるために借りのお金のことです。日常ではなじみがなく、目立たないのですが、実は、国の補助金などと合わせて、学校やごみ処理施設、水道・下水道など住民生活に必要な施設・インフラの多くがこの地方債を活用して建設されています。いわば「縁の下の力持ち」的な存在です。

地方債に限らず、入省してから、自分がこれまで知らなかった分野に出会う方もいらっしゃると思いますが、総務省の業務は、日常生活に密接に関連しているので、イメージしやすく、業務にやりがいを感じられることが多いと思います。

暖かく、活気に満ちた職場で

私の職場は、暖かく、活気があります。これは、地方団体から来られている方が非常に多いからだと思います。体感では、職場の半分くらいは地方団体から来られている方々なのではないかと感じます。自分と生まれや育ちが全く異なる方たちばかりなので、お話を聞くだけでとても面白いです。プライベートで一緒に遊びに行ったりすることもよくあります。

また、これまで職場に関わった方たちを見ていると、オンとオフの切り替えが上手く、休日にもツーリングや山登りなど、活発に外に遊びに行かれている方が多いように感じます。休日の過ごし方は人それぞれですし、私自身、学生時代は比較的、家で過ごしがちでしたが、周りの方々の影響を受けて、今はなるべく休日でも外で新しいことをしてみようと思うようになりました。

みなさんもぜひ、このような活気のある職場で一緒に働いてみませんか。

Q 総務省を志望した理由は何ですか？

地方団体への転勤があること、説明会の場で職員の方々が活き活きとされていたこと、幅広い分野の業務に携われそうだなと思ったことが理由です。

特に最後の点については、予想以上でした。他の省庁の方々とよく仕事を行う機会があり、まだキャリアの浅い私でも、既に財務省、金融庁、厚生労働省、警察庁などとかかわりがあります。本当に幅広い分野の業務に携われていると感じています。

Q 国家公務員(総務省)の魅力は何ですか？

業務の範囲が非常に広く、地方団体や関係省庁の方々など、多様な方々と仕事で接点があるため、日々刺激を得られるのが大きな魅力だと思います。もし、入省してから業務にやりがいを持てるか不安に思う方がいらっしゃっても、心配いらないと思います。



休日に車で千葉県の観光地へ

PRIVATE TIME

総務省で知り合った友人と遊びに出かけたりしています。先日は、恐らく10年、いや20年ぶりに、真剣にフリスビーを投げ合って遊びました。家族などで遊ぶのは見かけますが、大人同士というのはやや珍しいですね(笑)。ちなみに、私が圧倒的に一番下手だったので、次回開催までに腕を磨きたいと思っています。





自治税務局企画課調査第二係長

立川 智美 TACHIKAWA TOMOMI

平成29年 4月 総務省採用
大臣官房会計課
平成30年 4月 同 自治行政局地域政策課国際室
平成31年 4月 埼玉県企画財政部市町村課
令和 3年 4月 総務省自治行政局選挙部政治資金課支出情報開示室
令和 4年10月 同 自治税務局企画課
令和 5年 4月 現職

地方のために私たちが出来ること 自治体の実情に見合った制度作り

今の部署では、主に地方譲与税の算定業務を行っています。地方譲与税は、国税として一度徴収した税金を、様々な基準を用いて地方へ譲与する仕組みであり、地方自治体にとって貴重な財源となっています。中には航空機燃料譲与税のように、使い道が限定されている性質を持つものもあり、地方自治体の財政需要が反映されるような制度作りが求められています。

今年度は、航空機燃料譲与税の譲与に用いる基準の見直しを行いました。航空機燃料譲与税が創設されて以来に生じた課題等を踏まえ、地方自治体の財政需要を譲与税算定により適切に反映出来る基準そのものの検討に加え、地方自治体への調査等を通して実情を把握した上で、改正による地方自治体の財政需要に与える影響が少なくなるような仕組みも検討し、制度の改正に至ることが出来ました。

実際の運用は翌年度からになりますが、大きな改正に携われたことに達成感を感じています。

入省前の期待と今思うこと

就職活動をしていた頃の私の第一希望は地元の自治体でした。総務省とその自治体のどちらに進むべきか非常に悩みましたが、最終的に総務省を選んだ理由は、より多くの自治体のための制度作りに携わることで、俯瞰的な視点で地元のためにも働くことが出来るのかもしれない、という漠然としたイメージに期待が膨らんだこと、入省前に業務説明等の機会職員の方の仕事に対する思いを聞き、一緒に働いてみたいと興味が湧いたためです。

入省してから感じていることは、大きなスケールの仕事に携わりながらも、地方公共団体の実情を細かく調べて制度に活かそうとする姿勢を皆が持っている点です。

また、地方自治分野の職員は出向を通して心のふるさとが出来、その「ふるさと」を含む地方自治体が行政運営をしやすくなるように、という思いを強く持ちながら、それぞれの持ち場でよりよい制度作りのために検討・分析を進めている方が多いと感じています。

とある一週間

- 月曜日** 午後の会議に向けて資料の印刷や会場の準備をし、会議後は議事録を作成します。
- 火曜日** 各課に照会していたデータが取りまとまったので、疑義を担当者へ確認します。
- 水曜日** 新譲与基準について、案を細かく調整しながら検討を進めます。
- 木曜日** 課長に昨日作成した案を諮り、指摘を踏まえて案を再調整します。
- 金曜日** 譲与税算定当日！数値や数式を確認しながら素早く慎重に作業を進めます。



譲与税の使途について、実態調査中…

PRIVATE TIME

美味しい物を食べたり、旅行や日帰り温泉へ行ったりと心身をリフレッシュさせることに専念しています。一番のリフレッシュ方法は、好きなアーティストのライブに行くことです！同期とも入省当初から仲が良く、楽しい思い出がたくさんあります。プライベートも仕事面も相談に乗ってもらえるので、非常にありがたい存在です。





消防庁国民保護・防災部防災課地域防災室消防団係長
併任 消防団加入促進係長

山下 剛史 YAMASHITA TAKESHI

平成22年 4月 総務省採用
消防庁総務課
10月 同 自治行政局選挙部政治資金課収支公開室
平成24年 4月 千葉県総務部税務課
平成25年 4月 同 総務部市町村課
平成26年 4月 総務省大臣官房会計課
(大臣官房会計課予算執行調査室室員併任)
平成28年 4月 同 自治税務局都道府県税課間税第二係長
平成30年 4月 同 自治税務局都道府県税課調査係長
(自治税務局都道府県税課自動車税制企画室室員併任)
(自治税務局市町村税課併任)
平成31年 4月 同 消防庁総務課主査
令和 2年 3月 外務省在インド日本国大使館二等書記官
(在プータン日本国大使館併任)
5月 (アジア大洋州局南部アジア部南西アジア課併任)
令和 5年 4月 現職

地方を支える一翼に

安全・安心な地域づくり

消防庁は、地方公共団体や全国の消防本部等と連携し、救急、救助、火災予防、地域防災などの消防行政を担っており、私が所属する地域防災室では、消防団や自主防災組織等に関する業務を所管しています。

消防団と聞いて、「消防士が集まった団体?」と思う方もいるかもしれませんが、消防団は、消防士とは違い、普段は学生や会社員のような方々が、火災や地震等の災害時にいち早く駆けつけ、消火、救助、避難誘導等の災害対応にあたるなど、地域住民の安全を守るという重要な役割を担っています。

近年、豪雨などの災害が頻発化・激甚化し、各地で甚大な被害が発生している一方で、地域を支える消防団員の数は、人口減少や高齢化などを背景に年々減少しており、団員確保など消防団の充実強化が不可欠となっています。

このため、地域防災室では、女性や学生等の入団促進のための広報をはじめ、消防団の処遇改善、装備の充実など、消防団の充実強化に向けた様々な施策を実施しています。

想いを大切に

私が仕事をする上で大切にしていることは「三現主義」です。「三現主義」とは、机上ではなく、実際に“現場”で“現物”を観て、“現実”を認識した上で、問題解決を試みるという考え方で。

霞ヶ関では、あらゆる施策が日々猛スピードで議論されますが、現場である地方の実情を知らずして良い議論は出来ません。リモートワークなどIT化が進んだ現在でも、地方に直接足を運び、現地の方の話を聞くことで得た現場の課題を施策に反映することが最も重要なことだと思っています。

総務省では、自治体への出向等を通じて地方自治の現場を経験し、さらに、全国各地の自治体から派遣された職員の実務経験を参考にしながら、地方のため、日本の未来のために日々施策等について議論しています。

「地方のために」と高い志を持つ方は、その想いを胸に、是非その実現に向けて一緒に働けたらと思います。

Q これまで携わった仕事で達成感があった仕事は何ですか?

これまで最も印象深かった仕事は、自動車税制の抜本的な改正に携わったことです。当時は、消費税率10%への引上げによる自動車需要の冷え込みを抑えることや、国内自動車市場の活性化等を目的として、自動車税・軽自動車税の税率などの見直しを行いました。

見直しに当たっては、地方の財源となる地方税収への影響を考慮し、連日夜遅くまで対応に追われましたが、税制改正の内容が閣議決定された時には、大きな喜びと安堵を感じました。

Q 自治体や海外での赴任経験が総務省の業務に活かした経験はありますか?

在インド日本大使館での3年間の赴任を終え、2023年4月から消防団の業務を担当していますが、消防団の海外研究等のため、海外の方とのやり取りや海外出張する機会を与えられました。まさか地域防災を所管する超ドメスティックな部署で、海外赴任で培った語学力等を活かせるとは思っていませんでした。



休日にインドの屋台で同僚と朝食

PRIVATE TIME

ここ数年でキャンプにハマり、時間が有れば週末家族でキャンプに出かけています。自然豊かな場所で食事を楽しみながら、ゆったりと過ごし、最近では観葉植物にも夢中になっています。特に多肉植物のキュートでユニークの形や種類の豊富さに魅了され、植物が日々生長する姿に癒やされています。

